

香川大学幸町キャンパス事業継続計画

平成27年10月策定
(令和4年12月改訂)

目次

1. 基本コンセプトと目標.....	1
2. 被害想定と対応業務の洗い出し.....	2
3. 重要業務の選定・目標時間の把握.....	5
4. 災害時の対応体制.....	9
5. 対応拠点・代替連絡拠点の確保.....	10
6. 災害情報の発信・情報共有.....	12
7. 人員、資機材、サービスの確保.....	14
8. 情報・通信システムの確保.....	15
9. 重要情報の管理.....	17
10. 地域との協調・地域貢献.....	18
11. 訓練の実施.....	19
12. 今後の対応.....	20

1. 基本コンセプトと目標

災害時に大学の教育研究業務を継続又は早期に復旧するための準備と災害発生時の対応を事前に想定・計画したものが事業継続計画（BCP）であり、そのうち幸町キャンパスに係るものが本BCPである。

本BCPのコンセプト及び目標は、以下の5項目とする。

<目標1> 学生、役員及び教職員の身の安全を確保する

- ・避難計画や災害時の人的被害への対応

<目標2> 本部及び各部局機能を維持する

- ・危機対策本部を含む本部機能及び幸町キャンパス所在の各部局機能の維持

<目標3> 学生の卒業・就職、受入れを予定どおり行う

- ・授業の実施、単位の認定、推薦書・各種証明書の発行、進学・就職活動の支援
- ・入学試験の実施、入学の準備・実施

<目標4> 教育研究水準を確保する

- ・良好な教育研究環境の提供、大学生活等への諸支援

<目標5> 教職員の雇用を確保する

- ・教職員の流出の防止

2. 被害想定と対応業務の洗い出し

- (1) 想定災害の考え方
- (2) 被害想定と対応業務の洗い出し

(1) 想定災害の考え方

■ 対象リスク

南海トラフ地震（最悪の場合として、最大クラスを想定）とする。

■ 被害想定

中央防災会議の震度、津波高さ、液状化危険度等の想定をもとに被害を想定する。

■ 想定シナリオ

震度：南海トラフ地震発生により6強（5分間）

建物：倒壊しないが、天井などの落下物被害

設備：重要機器、実験機器、PCなどが被害

津波：幸町北キャンパスは浸水、

幸町南キャンパスは浸水無し

ため池決壊：あったとしても影響ない

ただし、通学中は津波やため池決壊も想定



出典：高松市ハザードマップ

(2) 被害想定と対応業務の洗い出し

地震発生後の被害状況、対応すべき事項をワークショップ形式で時系列シナリオを抽出する。

【ポイント】

まずは、平日昼間の学生が一番多い時間を想定する。次の段階として夜間（休日）発生を想定する。

【ワーキング結果（対応業務は重要業務の項に掲載）】

■ 地震発生直後、自分は？建物や施設等は？家族は？地域は？

（自分及び自分の周り）

- 大きな揺れに動揺する。
- 机の下に隠れる。
- 天井や壁が崩れ、窓ガラスが壊れる
- 落下物などで怪我をする
- 机の上、床に書類や本が散乱する。
- 棚、ロッカー、機器類、その他物品が転倒・落下し、ケガをする。
- 実験、実習中の場合は、多数のケガ人が出る。
- 火災が発生し、多数のケガ人が出る。
- 部屋やエレベーター等に閉じ込められている人がいる。
- サークルBOXが壊れ学生が閉じ込められる。
- 学生が動揺している。

（設備や建物等の被害）

- 建物が大きく揺れ、音を立てている。
- 停電で照明が消える。
- 水道が断水になる。
- ガスが止まる。
- 電話が不通になる。
- メールやインターネットが不通になる。
- エレベーターが止まる。
- トイレが使用できなくなる。
- 天井や壁が崩れ、建物に被害が出ている。
- ライフラインの停止。
- 機器類や物品が転倒・落下し、破損する。
- 工事用重機・資材が散らばっている。
- 火災報知機や防火扉の非常音が鳴り響く。

- 廊下などの通路に亀裂。

(家族やその周囲の様子)

- 電話などで連絡が取れず家族の状況が不明である。
- 子供は学校などの指示により避難している。
- 職場で拘束されている。
- 室内の物が倒れ、怪我をしている。
- 食糧・水・ガソリンなど物の買い占めでスーパー・コンビニは人だかりになる
- 事故や信号機の不通などで交通渋滞している。
- 道の亀裂・水道管の破裂。
- 消防車・救急車が出動している。
- 怪我人が多数いる。
- 湾岸地域や北キャンパスが浸水している。
- 山・橋・ため池などの倒壊・崩壊による道路封鎖。
- 浸水・津波の恐れのある北キャンパスから南キャンパスへ人が移動する。
- 地域の人が学内に避難してくる。

■ 最初に行うこと・行わなければならないこと

- 災害対策本部の立ち上げ。
- 周囲の安全、被害の確認、避難経路確認。
- 学生の避難誘導。(指導員?)
- 館内の人を安全に避難誘導。
- 怪我人の救助、応急手当。(医薬品を探す)
- 情報の収集。(ラジオ?)
- 警察、消防署の機能の確認
- 津波の危険があれば2階以上に避難。
- 学生・教職員の安否確認。
(授業中・サークル中・自習中・図書館内・社会人学生は?)
- 被害状況はどの程度か調べる。(人的被害、物的被害、各キャンパス)
- 火災は発生していないか。(初期消火)
- 危険物(薬物、毒劇物、放射性物質、ガス等)の流出はないか。
- 電源、ガス、水道を止める
- 生活必需品の確保(非常食や毛布などの非常用物品はあるか?)
- AEDや消火器、拡声器などはあるか。
- 緊急連絡先の準備や危機管理基本ガイドラインに基づき行動する
- HP等への情報発信
- ライフラインの確保

等

3. 重要業務の選定・目標時間の把握

- | |
|--|
| (1) 重要業務の選定
(2) 対応業務の重要度の影響評価と目標時間の設定 |
|--|

(1) 重要業務の選定

●各大学で共通の重要業務

- ① ケガ人、閉じこめられた人の救出活動
- ② 学生、役員、教職員、来客者の安否確認、不明者の把握
- ③ 火災の発生や危険物の漏洩等の二次災害の防止
- ④ 大学執行部の中枢機能の確保
- ⑤ 研究資産のデータ喪失防止及び復旧
- ⑥ 学内の情報システムの維持又は早期復旧
- ⑦ 特定施設の優先復旧
- ⑧ 自宅に住めなくなった学生等への支援
- ⑨ 教育・研究環境の早期復旧
- ⑩ 教職員の雇用の確保

●季節性のある重要業務

- ① 入学試験の実施
- ② 卒業試験・定期試験・単位認定
- ③ その他の主催イベント

●立地により差が出る重要業務

- ① 学生、役員、教職員のうち、帰宅困難者への支援
- ② 地域の避難所等としてのスペースの一時提供

●大学の方針に依存する重要業務

- ① 敷地・建物の応急・復旧活動への積極的提供
- ② 学生によるボランティア活動
- ③ 被害判定その他の技術的な復旧支援

(2) 対応業務の重要度の影響評価と目標時間の設定

対応業務に対して重要度（1・2・3・4・5）を設定し、重要業務の選定表を作成して目標時間を検討する。

【評価の観点】

- 研究活動への影響
- 大学収入への影響
- 大学ブランドへの影響
- 地域教育への影響
- 社会的責任・信用への影響

表 3-1 重要業務の評価結果

重要業務名	判断要因	研究活動への影響	大学収入への影響	大学ブランドへの影響	地域教育への影響	社会的責任・信用への影響	重要度の評価結果
自らの安全確保(揺れが収まるまで)		26	15	19	17	20	97
初期消火		34	33	33	30	33	163
学生・教職員の避難誘導		26	26	31	26	35	144
情報収集・伝達手段の確保		21	21	23	26	28	119
地震に関する情報収集		23	18	20	23	27	111
大学執行部の中枢機能の確保(指揮命令系統の確立、災害対策本部の設置、本部要員等の体制確保)		26	26	31	25	35	143
大学の被害状況の把握(各キャンパス)		29	29	26	26	30	140
学生、教職員、地域の避難所としてのスペースの一時提供		21	20	29	27	33	130
けが人、閉じ込められた人の救出活動(応急処置・応急救護)		21	24	29	26	34	134
家族の安否確認		18	13	14	18	20	83
学生・教職員・来客の安否確認・不明者把握		20	23	25	26	35	129
キャンパス間の連絡体制の確立		19	19	24	23	24	109
文科省、関係機関への被害報告		21	26	24	19	30	120
火災、有毒物質の漏洩等、二次災害の防止(危険区域の明示、二次避難)		29	27	30	24	34	144
代替本部の設置判断、設置		24	19	24	20	26	113
特定施設(☆具体的に)の優先復旧		29	27	24	20	25	125
学生・教職員の帰宅困難者への支援		23	22	28	26	32	131
避難所機能の確保		20	19	27	24	33	123
学内の情報システムの維持または早期復旧		28	24	25	21	24	122
外部機関との連携		20	21	28	27	29	125
施設の応急復旧		30	26	25	25	27	133
研究資産(大学として存続に関わる研究)のデータ喪失防止及び復旧		33	30	30	23	29	145
敷地・建物の応急・復旧活動への積極的提供		24	21	28	26	30	129
大学事業継続のための学生ボランティア要員の確保		18	18	26	24	27	113
学生による地域ボランティア活動の斡旋		15	16	30	24	31	116
被害判定その他の技術的な復旧支援		23	21	27	23	30	124
自宅に住めなくなった学生への支援		19	24	30	22	31	126
被災した教職員、学生への支援		26	24	29	22	32	133
教育・研究環境の早期復旧		33	29	29	25	26	142
教職員の雇用の確保(雇用維持、給料支払い)		32	30	27	23	27	139
入学試験の実施		17	32	32	28	33	142
卒業試験・定期試験・単位認定		21	21	32	27	34	135
他の主催イベント		14	15	24	20	24	97

表 3-2 重要業務と許容時間の関係（委員からの意見）

重要業務名	判断要因	重要度の 評価結果	許容時間	許容時間(個別)		
				教育学部	法・経済学部	その他
自らの安全確保(揺れが収まるまで)		97	30分	30分	30分	
初期消火		163	43分	40分	1時間	
学生・教職員の避難誘導		144	53分	40分	1時間	
情報収集・伝達手段の確保		119	1時間10分	90分	1時間	
地震に関する情報収集		111	1時間30分	90分	120分	
大学執行部の中枢機能の確保(指揮命令系統の確立、災害対策本部の設置、本部要員等の体制確保)		143	1時間50分	150分	1時間	
大学の被害状況の把握(各キャンパス)		140	3時間20分	120分	2時間	
学生、教職員、地域の避難所としてのスペースの一時提供		130	8時間53分	40分	2時間	
けが人、閉じ込められた人の救出活動(応急処置)		134	3時間20分	120分	2時間	
家族の安否確認		83	10日17時間	150分	1ヶ月	
学生・教職員・来客の安否確認・不明者把握		129	9時間10分	90分	2時間	
キャンパス間の連絡体制の確立		109	1時間50分	150分	2時間	
文科省、関係機関への被害報告		120	1日	1日	1日	
火災、有毒物質の漏洩等、二次災害の防止(危険区域の明示、二次避難)		144	9時間10分	90分	1日	
代替本部の設置判断、設置		113	7時間	16時間	2時間	
特定施設(具体的に)の優先復旧		125	17時間	2日	3時間	
学生・教職員の帰宅困難者への支援		131	10時間	180分	3時間	
避難所機能の確保		123	2日10時間	180分	3時間	
学内の情報システムの維持または早期復旧		122	9時間	1日	1時間	
外部機関との連携		125	1日8時間	3日	2時間	
施設の応急復旧		133	6日	3日	1週間	
研究資産(大学として存続に関わる研究)のデータ喪失防止及び復旧		145	2日	3日	1時間	
敷地・建物の応急・復旧活動への積極的提供		129	6時間	3日	1週間	
大学事業継続のための学生ボランティア要員の確保		113	1週間	7日	1週間	
学生による地域ボランティア活動の輪旋		116	23日	7日	1ヶ月	
被害判定その他の技術的な復旧支援		124	1週間	7日	1週間	
自宅に住めなくなった学生への支援		126	5日	2日	1週間	
被災した教職員、学生への支援		133	5日	2日	1週間	
教育・研究環境の早期復旧		142	1週間	7日	1週間	
教職員の雇用の確保(雇用維持、給料支払い)		139	23日	7日	1ヶ月	
入学試験の実施		142	25日	14日	1ヶ月	
卒業試験・定期試験・単位認定		135	27日	20日	1ヶ月	
他の主催イベント		97	—	延期・中止の検討	1ヶ月	
					延期・中止の検討	

4. 災害時の対応体制

- (1) 学生、役員、教職員及び家族の安否確認方法
- (2) 災害時の対応体制
- (3) 災害対策本部長の代理者及び代理順位

(1) 学生、役員、教職員及び家族の安否確認方法

実施者	担当者・代理者
対象者	学生、役員、教職員及びその家族
実施方法	・電話連絡、メール、SNS等の活用 ・安否確認(氏名・避難している住所)、リスト作成 ・安否不明の人への対応(継続的に連絡、応援を呼ぶ、警察・消防への連絡等) ・留学生への対応(外務省へ確認、報告)

(2) 災害時の対応体制

災害時の役割	学長が招集→危機対策本部を設置
災害時の対応体制	香川大学危機管理基本ガイドライン及び地震・風水害(台風)・不審者・火災の対応マニュアルに準じて対応
災害時のリーダー	学長が本部長
発災直後の対応体制	・危機対策本部メンバー確認、副本部長の指名、本部員の追加、危機対策本部の設置(場所の検討) ・役割分担(情報収集、救護、連絡、キャンパス内被害確認等) ・キャンパス間(生協含む)の連絡 ・文部科学省、香川県、高松市、マスコミ等へ対応窓口を公表 ・被害情報から帰宅や出勤を判断 ・勝手に行動せず集団で行動し、情報を把握

(3) 災害対策本部長の代理者及び代理順位

代理者及び代理順位	1位 理事(教育担当) 2位 理事(研究・産官学連携・教員評価担当) 3位 理事(総務・労務担当)
-----------	---

5. 対応拠点・代替連絡拠点の確保

- (1) 対応拠点の確保
- (2) 代替連絡拠点の確保
- (3) 対応の発動基準

(1) 対応拠点の確保（代替本部にも同様の設備が必要）

対策本部の設置場所	大学本部3F 学長応接室
連絡先	住所：〒760-8521 香川県高松市幸町1-1 電話：内線1020 総務課087-832-1000、1017 メール：soum-h@kagawa-u.ac.jp
揃える設備	<ul style="list-style-type: none"> ・PC、プリンター、備蓄材、救命器具、非常用電源等、ホワイトボード、MCA無線 ・学長応接室に災害電話の設置 ・ライト・懐中電灯、乾電池等の確認、照明の確保 ・ラジオ、携帯コンロ、燃料、非常食、飲料、毛布、寝袋、銀色マット、浄水装置、カイロ、暖房具等の防災グッズの準備 ・幸町キャンパスの図面
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を収集・整理し、共有化、対策のフローチャート化（確認） ・災害復旧への体制計画立案、短期、中期的な対応についての戦略 ・大学の被害状況、安否情報を収集、文部科学省、マスコミ等へ発信 ・被災者の受入れアナウンス、行政側との情報連携(情報発信の一元化)行政機関への支援 ・帰宅者と宿泊者の確認(宿泊者、一時帰宅者のリストアップ、大学に残る人数を把握) ・宿泊者(学生、教職員、避難の地域住民)の宿泊場所の確保、受入れ、 対応内容検討 ・避難者(帰宅不能者)の受入れ、宿泊所の設置(市・生協との連携) ・対応期間を推測し食料、水、燃料等、必需物資確保。不足機材手配

(2) 代替連絡拠点の確保

代替連絡拠点の場所	OLIVE SQUARE 2F 多目的ホール
連絡先	総務課087-832-1000、1017
業務内容	安否確認、情報収集拠点

(3) 対応の発動基準

発動基準	高松市内において震度5弱以上の地震発生で危機対策本部を設置 (それ以下であっても、被害の状況により学長が判断し設置)
------	---

6. 災害情報の発信・情報共有

- (1) 学生（保護者）関係
- (2) 役員、教職員（家族）関係
- (3) 文部科学省関係
- (4) 連携大学関係
- (5) 報道関係
- (6) その他

(1) 学生（保護者）関係

安否確認	安否確認システムの利用、固定電話、携帯電話、携帯メール、衛星携帯電話、伝言ダイヤル、SNS 等により実施
安否情報の確認・発信・共有	本人、保護者、友人、指導教員、家族、マスコミ、留学生（これについては大使館）、学内掲示、照会専用電話の公表等
講義再開に向けた説明	連絡が取れない場合は、マスコミを通して説明会の開催を広報

(2) 役員、教職員（家族）関係

安否確認	安否確認システムの利用、固定電話、携帯電話、携帯メール、行政電話、衛星携帯電話、伝言ダイヤル、SNS 等により実施
情報の確認・発信・共有	本人、家族、実家、同僚、学内掲示、外国人教職員（これについては大使館）、照会専用電話の公表等

(3) 文部科学省関係

被災状況報告	学生・役員・教職員、施設・設備、実験機器、危険物、その他重要な財産等
応援依頼事項	学生・役員・教職員、施設・設備、実験機器、危険物、その他重要な財産等

(4) 連携大学関係

応援依頼事項	学生・役員・教職員、施設・設備、実験機器、危険物、その他重要な財産等
--------	------------------------------------

(5) 報道関係

取材協力	学生・役員・教職員の被災状況、大学の被災状況、大学の教育・研究・社会貢献活動、入試関係事項、学生の課外活動状況、避難住民への対応状況、教員の専門的立場からのコメント等
情報発信・収集協力	学生の安否確認、安否情報提供、受験生への入試情報提供等

(6) その他

県・市・警察・消防署との連絡	避難住民の情報収集及び報告・連絡、広報活動等
----------------	------------------------

7. 人員、資機材、サービスの確保

- | |
|---|
| (1) 学内で保有している資源「人員、資機材、サービス」の認識
(2) 連携大学、関係機関との緊急時の連絡先、連絡手段の相互認識 |
|---|

(1) 学内で保有している資源「人員、資機材、サービス」の認識

確認年月日	平成25年12月
人員	医師、看護師、保健師、防災士（機能別消防団を含む）、各種危険物取扱資格取得者等
資機材	医学部附属病院、保健管理センターに薬品、その他医療品等を相当量備蓄 大学本部2F 災害用備蓄倉庫に非常用物品（ライト、非常食、毛布、乾電池等（巻末資料参照））をある程度（数十人分の3日分程度）備蓄
サービス	医学部附属病院、保健管理センターで医療を提供 体育館を避難所として提供 運動場や広いスペースを一時的な避難所として提供 機能別消防団による避難者に対する応急手当、情報連絡、物資管理のサポート

(2) 連携大学、関係機関との緊急時の連絡先、連絡手段の相互認識

■ 発災直後に連絡をとる重要な関係先

- ・ 組織名称 文部科学省高等教育局国立大学法人支援課
- ・ 担当者所属 支援第四係
- ・ 連絡手段 固定電話
- ・ 連絡先 03-6734-3754、3344
- ・ 連絡する趣旨 大学に関する人的・物的被害状況の報告

■ 大学の連絡窓口

- ・ 担当者氏名 企画総務部総務課長
- ・ 代理者氏名 企画総務部総務課長補佐

■ その他の重要な連絡先

- ・ 巻末資料参照

8. 情報・通信システムの確保

- (1) 学内の情報・通信システムの現状
- (2) 災害時にも有効な情報通信システム

(1) 学内の情報・通信システムの現状

- ・ 情報サーバ・ネットワークスイッチが幸町キャンパスに集中配置されている。
- ・ 通常はSINETをインターネットバックボーンとするネットワーク環境で情報発信や情報取得を行っており、SINET接続は幸町キャンパスを経由し、上の専用回線で他キャンパスもネットワーク環境を共有できている。
- ・ 被災時に、幸町キャンパスが途絶した場合でも創造工学部・医学部・農学部の間でネットワーク接続でき、医学部に設置されたSTNetインターネット接続回線を活用し、医学部・農学部・創造工学部は代替インターネット接続サービスを利用可能である。
- ・ 被災等の事由で上の専用回線によりキャンパス間の情報通信が途絶した場合でも、各キャンパスにはベストエフォート型（専用回線のように通信速度保証は望めない）通信サービスにより、暫定的なインターネット接続サービスが利用可能となっている（これは、被災時以外でも、研究会などで学外者の研究者などの来学時に外部接続支援を可能にするなどの付加的サービスも担っている）。
- ・ auとWi-Fiのスポット契約をしており、第一体育館・第二体育館・南5号館学生スペース・課外活動共有施設に無線アクセスポイントが設置されている
- ・ 幸町のストレージにバックアップされたデータは夜間バッチにより医学部に設置されたストレージに同期を取ってコピーされるよう整備されている
- ・ 大学内のシステム・手段については総合情報センターが把握している

(課題)

- ・ 学生・役員・教職員の安否確認について、ICT推進協議会による安否システムの共同開発及び導入の検討

(2) 災害時にも有効な情報通信システム

- ・ 被災時に、幸町キャンパスが途絶した場合、医学部に設置されたSTNetインター

ネット接続回線を活用し、医学部・農学部・創造工学部は代替インターネット接続サービスを利用可能である。

- ・ またキャンパス間ネットワークが失われた場合でも、各キャンパスにはベストエフォート型通信サービスにより、インターネットへの暫定的な接続（限定的ながら情報発信や情報取得）も可能となっている。
- ・ 衛星携帯電話、伝言ダイヤル、携帯メールが使用可能である。これに加えて、学生メールは既にパブリッククラウドサービスに移行しており、本学の一部が被災して情報通信機能に影響が発生しても、その影響をほとんど受けない仕組みとなっている。
- ・ a uの無線アクセスポイントは、災害時には無償提供される契約となっている

（課題）

- ・ インターネットへの複数窓口を有するマルチホーム化の検討
- ・ 災害時にも必ず繋がる情報・通信手段を得るには海拔5メートル以上にある自家発電設備を整備した免震棟が必要
- ・ 無線 LAN の敷設、無線 LAN と有線 LAN を効果的に組み合わせた高速性と耐災害性の確保が必要
- ・ MCA無線（デジタル業務用移動通信）の導入の検討

9. 重要情報の管理

(1) 重要情報の種類

(2) 平常時の情報管理と災害時の情報の活用をどう位置づけるか？

(1) 重要情報の種類

- ・ 法人、大学に関する情報
- ・ 学生、役員、教職員に関する情報（個人情報も含む）
- ・ 教育に関する情報（教育内容、入試に関する情報等も含む）
- ・ 研究に関する情報（研究内容、成果、知的財産に関する情報等も含む）
- ・ 事務情報
- ・ その他重要な情報
- ・ 平成 23 年 4 月から公文書管理法が施行され、国立大学法人の管理運営方法の再整理が進められている（情報の管理方法、期限の設定など）。

(2) 平常時の情報管理と災害時の情報の活用をどう位置づけるか？

- ・ 災害時の安否確認に必要な個人情報の取扱い
- ・ 有事の際に特に保護・管理すべき情報（電子データ、紙媒体）
- ・ 重要情報のバックアップ方法（例えば、中四国大学間連携でお互いのデータサーバーへデータバックアップをとれば費用が膨大とならない。）

10. 地域との協調・地域貢献

- (1) 学生、役員、教職員の帰宅困難者への支援
- (2) 避難所機能の確保
- (3) 応急・復旧活動への敷地・建物等の積極的提供
- (4) 学生による地域ボランティア活動の斡旋
- (5) 被害判定その他の技術的な復旧支援

地域における重要な防災拠点機能を発揮するために、平常時から地域との交流をもつことが必要である。

- (1) 学生、役員、教職員の帰宅困難者への支援
不要不急の移動を回避し、地域の緊急業務を妨げない
- (2) 避難所機能の確保
学生、役員、教職員、来訪者及び周辺地域住民
- (3) 応急・復旧活動への敷地・建物等の積極的提供
物資・資機材の一時仮置き場、災害復旧従事者の集合拠点
- (4) 学生による地域ボランティア活動の斡旋
二次災害の心配が回避されてから実施
- (5) 被害判定その他の技術的な復旧支援
教員・学生の専門分野を活かした技術支援

11. 訓練の実施

- | |
|---------------------------|
| (1) 訓練の実施
(2) 課題の抽出と改善 |
|---------------------------|

(1) 訓練の実施

■ 実施時期

年1回、11～12月頃に実施

■ 訓練内容

大規模地震が発生し、それに伴う火災が発生したとの想定により以下の訓練を実施

避難訓練

安否確認訓練

救護訓練

情報収集・伝達訓練

放水訓練

初期消火訓練

AEDを用いた応急救護訓練

■ 参加予定者

約500名（うち学生約200名）

可能な限り、大学業務に係わる者全てを対象としている

(2) 課題の抽出と改善

訓練後にアンケートを実施し、その結果から反省点、課題等を抽出し、改善につなげている。

12. 今後の対応・検討事項

- 防災訓練の定期的な実施
- 危機管理基本ガイドラインや事業継続計画等の周知徹底
- 災害時用情報通信システムの検討
- 学生・役員・教職員の安否確認システムの検討
- 重要情報の非常時の管理方法の検討
- 地域との連携・協力方法の確認
- 非常用物品の備蓄量の拡大
- 学生、教職員向けの防災カードの作成
- 機能別消防団（H26.7 結成済）の訓練の実施
- 学生全体を対象とした防災授業（共通教育1年次後期に実施）
- 教職員全員を対象としたSD講習会の実施 1時間以内

資料集

- (1) 幸町キャンパスにおける備蓄品及び備蓄食糧品の整備状況一覧
- (2) 重要な連絡先一覧
- (3) 幸町キャンパスにおける耐震化状況
- (4) BCP に関する学生及び教職員の動態調査結果

(1) 幸町キャンパスにおける備蓄品及び備蓄食糧品の整備状況一覧

			H28.12.1現在
◆備蓄品			
品名	数量	備考	
カセットボンベ式発電機(三菱重工・MGC900GB)	3台		
カセットボンベ(イワタニ)	63本		
災害用大型テント(3,000×6,000)	1台		
ワンタッチテント(3,000×6,000)	2台		
三方幕(ワンタッチテント用)	2枚		
専用台車(へんしん台車)	3台		
アルミ簡易ベット	2台		
軽中量ポルトレスラック単体(イトーキ・ERL-17565-1)	3台		
キャビネット(備蓄品整理用・イトーキ・ERL-17565-1 他)	9台		
キャビネット(備蓄品整理用・イトーキ・ERL-17565-1 他)	8本		
トランシーバー(KENWOOD・UBZ-LM20)	8個		
折りたたみ式担架(タニザワ・ST-616-2)	2台		
セイフティーメガホン(ノボル・TS-083)	3個		
ブルーシート(トラスコ中山・3.6m×3.6m #3000)	15枚		
バール(バクマ・900m/m)	2個		
両口ハンマー(4.5kg)	2個		
トラロープ(12mm/100m)	3巻		
LEDヘッドライト(ハセシン・HS-3)	5個		
LEDヘッドライト(ハセシン・HS-2)	5個		
折りたたみ自転車(EXE・20インチ)	1台		
2連はしご(アルインコ・CX40DE・3.9m仕様)	2台		
簡易更衣室用テント(トイレ兼)1.200×1.200	2台		
簡易トイレ(段ボール仕様)	2台		
インスタントトイレ処理セット(50パック入り・計200回分)	1箱		
ショベル(木柄・丸・角)	2本		
ショベル(パイプ柄・丸・角)	2本		
バケツ(13L)	2個		
やかん(5L)	2本		
防水コードリール(ハタヤ・1.25mm線×30m)	5個		
ハロゲン投光器(CASTER・CHT-500T)	3台		
ヘルメット(SC-1)	10個		
カセットコンロ(トウホウ・K-31 2700Kcal)	5個		
毛布(防災用毛布)	200枚		
手回し式充電ラジオ	10個		
軍手(HA-15-L12双組)	35セット		
防塵マスク(トニー・50枚入り)	2箱		
土嚢袋(50枚入り)	2セット		
長靴	10個		
エンジンカッター(三笠産業・MCH-300B本体)	1台		
ブレード(三笠産業・12MD-D)	4枚		
工業用内視鏡(STS・IES-55)	1台		
ケーブル(STS・CC55-3)	1本		
フラッシュ誘導灯	3本		
乾電池(単1)(パナソニック・LR20XJ/6SW)	3個		
乾電池(単2)(パナソニック・LR14XJ/6SW)	5個		
乾電池(単3)(パナソニック・LR6XJ/20SH)	2個		
乾電池(単4)(パナソニック・LR03XJ/20SH)	2個		
避難用リュック(アイリスオーヤマ)	5個		
緊急避難セット(アーテック)	5個		
非常持出23品セット	3個		
非常用持出リュック(アイリスオーヤマ)	3個		
非常用持出袋(アイリスオーヤマ)	3個		
保温アルミ寝袋型(アイリスオーヤマ)	10個		
一輪車(3才深型)	2台		
蓄電池(センチュリー BG-600)	3台		
ウォータータンク(アイリスオーヤマ(株) 20L)	15個		
ノーバンク自転車(ACTIVE911 FDB20 6KL MG-GT206N)	2個		
非常用持出リュック(地震対策30点避難セット)	10個		
備蓄衛生セット(4人分 アイリスオーヤマ D-MO-E4)	20個		
備蓄作業セット(3人分 アイリスオーヤマ D-MO-S3)	20個		
簡易トイレGood袋&Good消臭液(200回分)	20個		
レスキューツールキット(RS-120)	5個		
発電機(エネポ HONDA EU9iGB)	4個		
不織布毛布(W1,400×D2,000mm)	10個		
災害多人数用救急箱(50人用)	2個		
安全靴(WS33HiFR(23.5~28cm))	10個		
立ち入り禁止テープ(60mm×50m巻き)	15個		
小計	—		
◆備蓄食糧			
品名	数量	備考	
非常用ご飯(アルファ米12種入り)	180食		
カンパン(北陸製菓(株)110g)	360個		
保存食(カロリーメイトロングライフ・賞味期限3年 60箱)	10箱		
保存水(2L×6本)	20個		
小計	—		
◆保管場所			
大学本部2階 災害用備蓄倉庫			
※常時施錠しているため、鍵が必要。			
※鍵は総務グループが管理しているが、非常時には施設企画グループのマスターキーで開けてもらうことも可能。			

(2) 重要な連絡先一覧

【業者等】

調達内容	会社名	所在地	担当者	連絡先	備考
蛍光灯・安定器	タケヤ電機(株)	香川県高松市松島町2丁目1-24		087-843-7768	室内灯・外灯全般
	(株)ヒライデンキ	香川県高松市天神前9-21		087-862-5184	室内灯・外灯全般
エアコン	ダイキンエアテクノ四国(株)高松支店	香川県高松市伏石町183番地1	宮下	087-868-7350	ダイキン製品全般
	パナソニックES産機システム(株)高松営業所	香川県高松市春日町1657-1	明神	087-844-3655	パナソニック・三洋製品全般(ガス式空調機)
	三菱電機システムサービス(株)香川サービスステーション	香川県高松市香川町川東下717-1	川久	087-879-1110	三菱電機製品全般
	(有)KAZU空調	香川県高松市茜町10-12	木村	087-887-4947	その他製品全般
	タケヤ電機(株)	香川県高松市松島町2丁目1-24		087-843-7768	小型エアコン全般
(株)ヒライデンキ	香川県高松市天神前9-21		087-862-5184	小型エアコン全般	
トイレ・水漏れ等	TOTOメンテナンス(株)高松支店	香川県高松市松縄町49-12		087-864-3170	TOTO製品全般
	後藤設備工業(株)	香川県高松市香西東町645番地の1		087-881-3116	給排水全般
	香川県清掃農業協同組合	香川県高松市上之町1丁目9番11号		087-865-6636	配管詰まり等
	和協サービス(株)	香川県高松市勅使町22-1		087-868-3358	配管詰まり等
給排水設備	後藤設備工業(株)	香川県高松市香西東町645番地の1		087-881-3116	給排水全般
建築関係	(株)荒木建設	香川県高松市香西北町59番地3		087-881-4485	建築関係全般
電話	都築電気(株)高松支店	香川県高松市藤塚町一丁目10番30号		087-851-1131	電話設備全般
	(株)NTT西日本一四国 香川事業部	香川県高松市観光通1-8-2		087-868-6580	電話
	ソフトバンクテレコム(株)	香川県高松市天神前10-5		087-831-3688	電話
電気/LAN関係	(財)四国電気保安協会	香川県高松市福岡町3丁目31-15		087-821-5615	電気設備全般
	タケヤ電機(株)	香川県高松市松島町2丁目1-24		087-843-7768	コンセント修理外
	(株)ヒライデンキ	香川県高松市天神前9-21		087-862-5184	コンセント修理外
	平成堂(株)高松支店	香川県高松市田村町496	大島	087-865-3325	LAN/視聴覚機器関係
ネットワーク関係	ネットワンシステムズ(株)	香川県高松市磨屋町3-1	野間	087-811-7933	LAN機器全般
機械警備	総合警備保障(株)高松支社	香川県高松市サンポート2番1号	山根	087-825-5666	機械警備
巡回警備	パナユーズ(株)	香川県高松市多肥下町1556番地13	神田	087-815-0087	巡回警備
ガソリン外(重油除く)	(株)ヤマウチ	香川県高松市田村町397	高杉	087-867-6868	ガソリン外(重油除く)
重油	(株)吉田石油店	香川県三豊郡詫間町1338番地128	小林	087-883-3050	重油
清掃	ハウス美装工業(株)	香川県高松市藤塚町3丁目12番12号	山田	087-861-4489	清掃
ブラインド/カーテン/床材	三友商事(株)	香川県高松市元山町1235番地1	杉本	087-867-0033	ブラインド/カーテン/床材
窓ガラス 外	(有)末広硝子店	香川県高松市春日町1376-1	近田	087-843-4455	窓ガラス 外
ドア鍵	(有)カガワキーサービス	香川県高松市多肥下町182-1	西岡	087-814-8169	ドア鍵

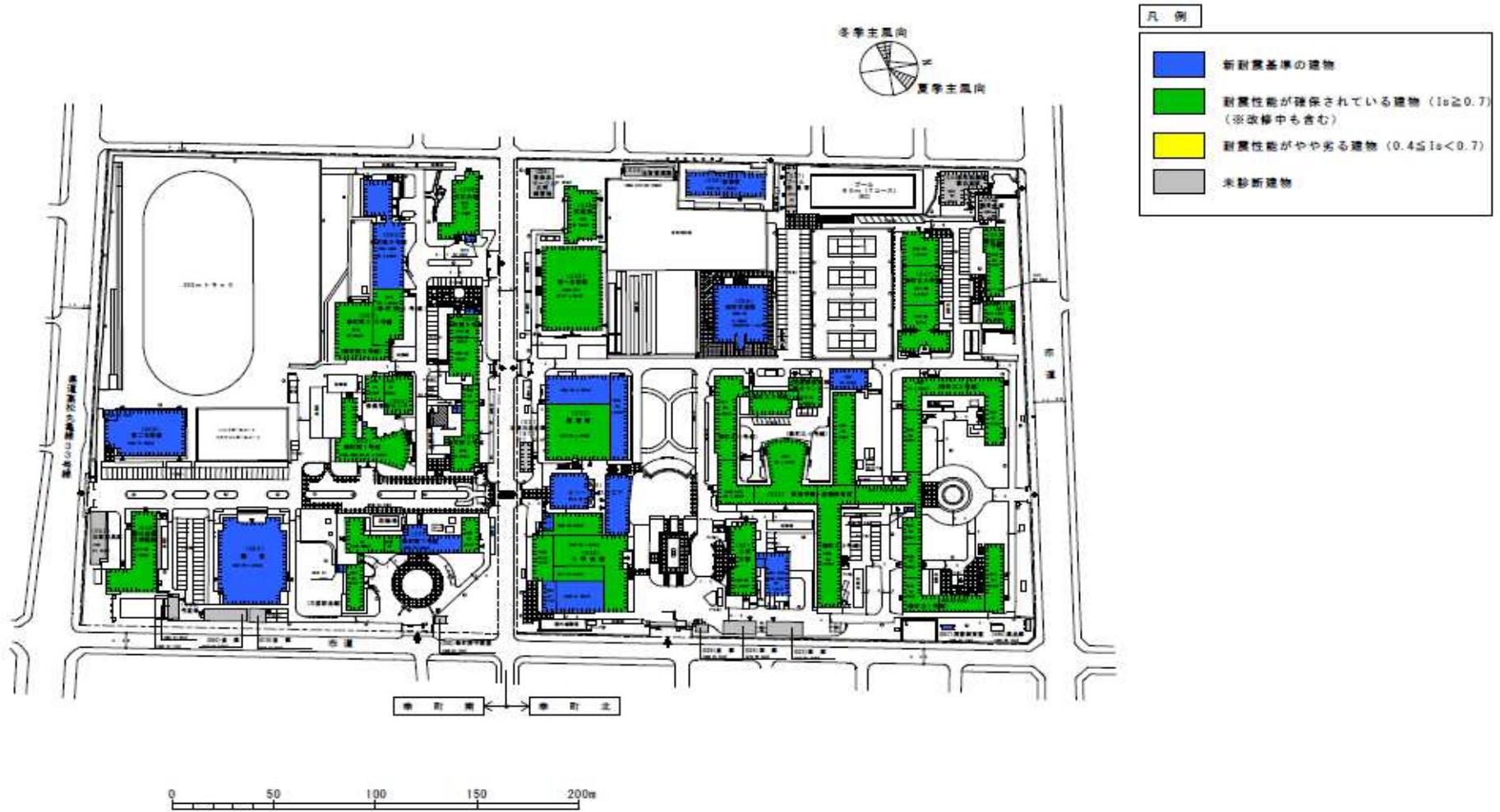
【業者等】

調達内容	会社名	所在地	担当者	連絡先	備考
エレベーター	㈱日立ビルシステム四国支社	香川県高松市寿町1-1-12		087-863-6355	幸町北地区
	三菱電機ビルテクノサービス㈱四国支社	香川県高松市番町1-6-1		087-821-1194	法学部
	日本エレベーター製造㈱高松出張所	香川県高松市西宝町1-3-9		087-861-6719	南2号館
	日本オーチス・エレベーター㈱四国支店	香川県高松市サンポート2番1号		087-822-2865	南7号館
	フジテック㈱四国支店	香川県高松市番町5丁目9-11		087-831-0015	交友会館
自動ドア	四国寺岡オートドア㈱	香川県高松市宮脇町1丁目2-31	山田	087-862-3828	
	ナブコドア㈱四国支店	香川県高松市上福岡町2012-13		087-802-0301	
防災設備関係	日本システムサービス㈱	香川県高松市鶴町158		087-882-3303	自火報設備全般
	四国防災設備(有)	香川県木田郡三木町大字氷上1833-6	矢野	087-898-3913	幸町北地区
	(有)小林商事	香川県高松市鹿角町282番地5	小林	087-831-4669	幸町南地区
カードリーダー	アマノ㈱高松支店	香川県高松市伏石町1174番4	坂本	087-837-6960	カーゲート
	㈱クマヒラ高松営業所	香川県高松市塩屋町8-1		087-821-2636	入退館システム
共用車	日産プリンス香川販売㈱高松東店	香川県高松市屋島西町字百石1975	山口	087-841-3201	日産車全車
	ネットヨタ高松㈱	香川県高松市香西南町404-1	田中	087-882-7123	トヨタ プリウス
	香川トヨベツト㈱	香川県高松市香西南町577-2	津田	087-882-5555	トヨタ アルファード・コースター
	㈱ホンダ四輪販売四国屋島店	香川県高松市屋島西町1955		087-841-8400	ホンダ ゼスト
一般廃棄物/産業廃棄物	㈱高松産業廃棄物センター	香川県高松市下田井町406番地12	落合	087-847-7385	一般廃棄物/産業廃棄物
廃棄試薬	イージーエス	愛媛県新居浜市新田町3丁目1番39号	伊藤	089-737-1098	試薬の廃棄
	アサヒブリテック	兵庫県神戸市東灘区魚崎浜町21	井藤	078-412-2144	試薬の廃棄
AED	フクダ電子四国販売㈱	香川県高松市伏石町2002-8	渡辺	087-865-4321	
酸素ガス・窒素ガス外	高松帝酸㈱高松事業所	香川県高松市朝日町5丁目14-1	永原	087-822-5222	酸素ガス・窒素ガス外
電気	四国電力㈱高松支店	香川県高松市亀井町7		087-836-1004	ライフライン/電気
ガス	四国ガス㈱高松支店	香川県高松市松福町1丁目3-8		087-821-8146	ライフライン/ガス
水道	高松市水道局	香川県高松市番町1丁目10番14号		087-847-4869	ライフライン/水道

(3) 幸町キャンパスにおける耐震化状況

幸町キャンパス

(1) 耐震化状況（2015年度現在）

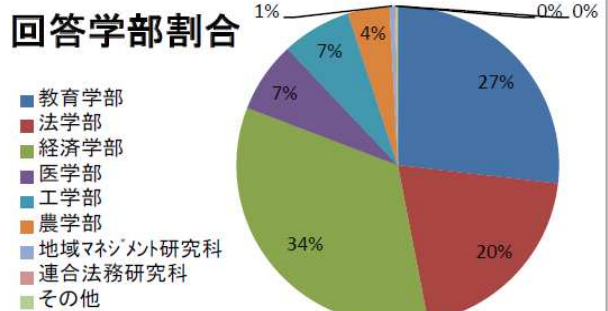


(4) BCPに関する学生及び教職員の動態調査結果

アンケート調査の方法		
1. アンケート実施期間	平成26年1月～	(2月27日時点)
2. アンケート方法	学生に紙媒体で配布・回収	
3. アンケート回答者総数	2,066件	(※幸町キャンパスに在籍する学生の約55%から回答)

Q1. あなたの所属を教えてください。[必須入力]

	件数	割合
教育学部	554	26.8%
法学部	416	20.2%
経済学部	699	33.9%
医学部	148	7.2%
工学部	144	7.0%
農学部	86	4.2%
地域マネジメント研究科	10	0.5%
連合法務研究科	3	0.1%
その他	4	0.2%
総計	2,064	100.0%



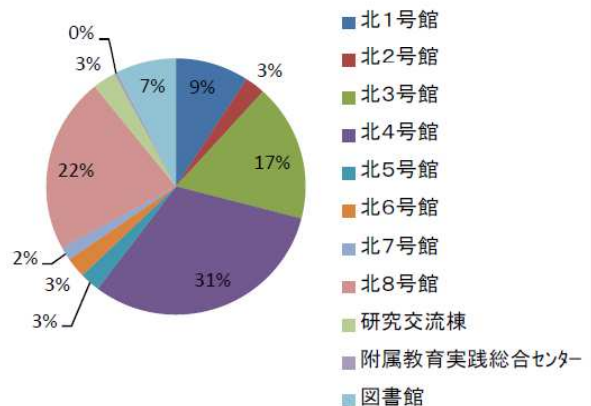
Q2. Q1.で「その他」を選択した方のみお答えください。所属を教えてください。

無回答4

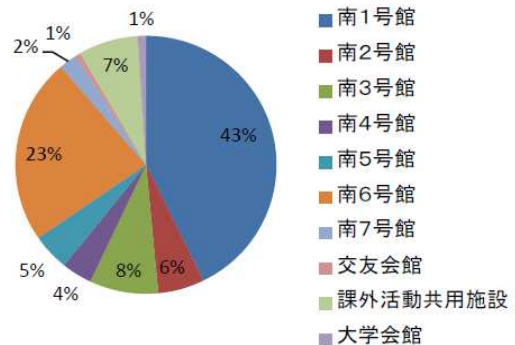
Q3. 日中大学における主な在室場所についてお答えください。[必須入力]

	件数	割合
北1号館	87	4.3%
北2号館	24	1.2%
北3号館	164	8.0%
北4号館	296	14.5%
北5号館	24	1.2%
北6号館	24	1.2%
北7号館	16	0.8%
北8号館	210	10.3%
研究交流棟	28	1.4%
附属教育実践総合センター	3	0.1%
図書館	71	3.5%
南1号館	387	19.0%
南2号館	52	2.6%
南3号館	77	3.8%
南4号館	34	1.7%
南5号館	42	2.1%
南6号館	211	10.3%
南7号館	20	1.0%
交友会館	6	0.3%
課外活動共用施設	67	3.3%
大学会館	9	0.4%
その他	187	9.2%
総計	2,039	100.0%

北キャンパス内 在室場所

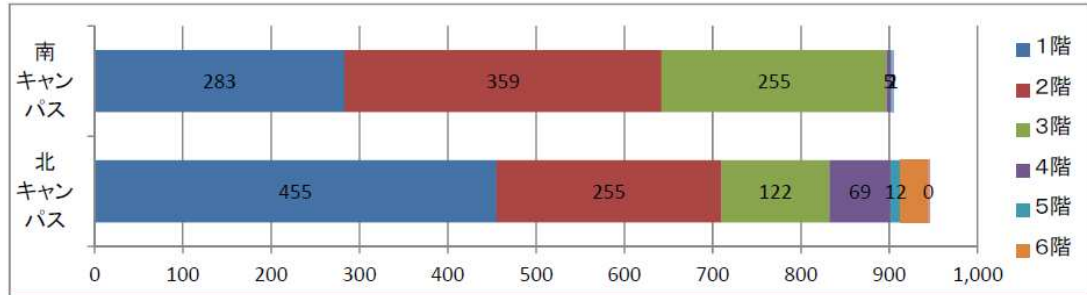


南キャンパス内 在室場所



Q4. 主な在室場所のフロアの階数を記入願います。[必須入力]

	北キャンパス	南キャンパス	他	合計	割合
1階	455	283	116	854	42%
2階	255	359	48	662	33%
3階	122	255	11	388	19%
4階	69	5	0	74	4%
5階	12	2	0	14	1%
6階	31	0	0	31	2%
7階	0	1	0	1	0%
8階	1	0	0	1	0%
総計	945	905	175	2,025	100%



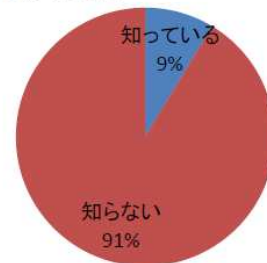
Q5. Q3、で「その他」を選択した方のみお答えください。主な在室場所を記入してください。

PCルーム29 医学部28 サークルBOX16 いろいろ8 特になし6 J3教室6
 工学部5 自習室5 又信記念館5 学内4 オープンスペース3 テニスコート3 体育館2 生協2
 415教室2 学食2 トイレ1 演習室1 音楽1 経済学部1 総合情報センター1 討論室1
 武道場1 広場1 E11教室1 E31教室1 農学部1 無回答25

Q6. 災害が起こった場合の大学における避難場所を知っていますか？ [必須入力]

	件数	割合
知っている	179	8.7%
知らない	1,885	91.3%
総計	2,064	100.0%

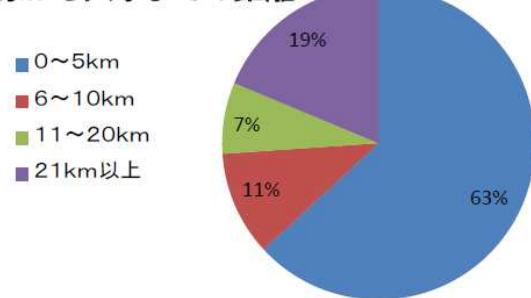
災害時の避難先(大学内)



Q7. 自宅から大学までの距離をお答えください。[必須入力]

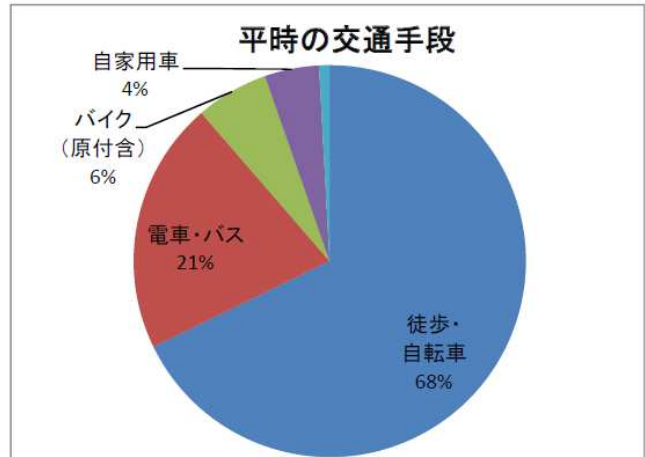
	件数	割合
0~5km	1,299	63.2%
6~10km	222	10.8%
11~20km	151	7.3%
21km以上	385	18.7%
総計	2,057	100.0%

家から大学までの距離



Q8. 平時の交通手段について教えてください。[必須入力]

	件数	割合
徒歩・自転車	1,393	67.8%
電車・バス	429	20.9%
バイク(原付含)	123	6.0%
自家用車	92	4.5%
その他	18	0.9%
総計	2,055	100.0%

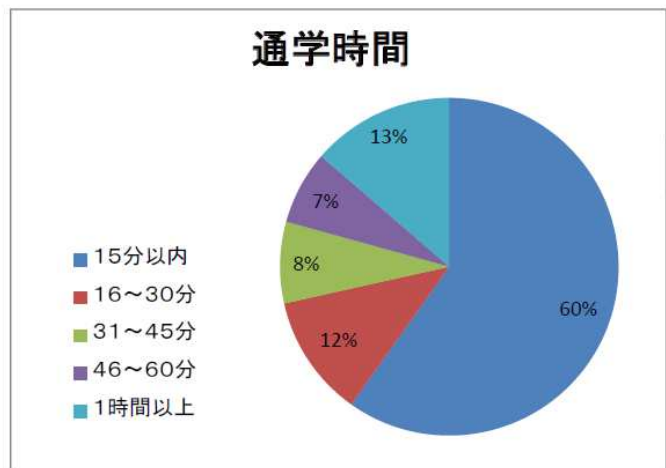


Q9. Q8. で「その他」を選択した方のみお答えください。具体的な手段を教えてください。

フェリー(船)

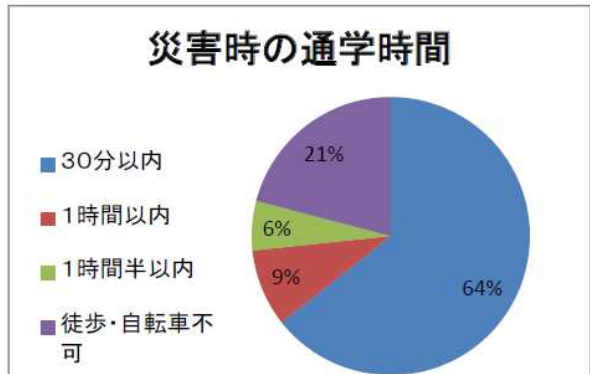
Q10. 平時の通学時間を教えてください。[必須入力]

	件数	割合
15分以内	1,229	59.8%
16~30分	240	11.7%
31~45分	160	7.8%
46~60分	145	7.1%
1時間以上	280	13.6%
総計	2,054	100.0%



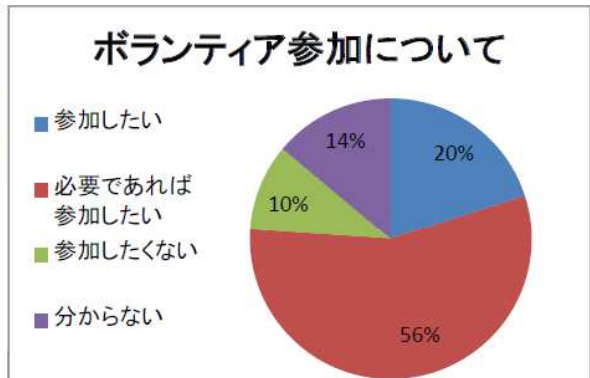
Q11. 災害などで自動車や公共交通機関が使えない場合の通学時間はどれくらいですか？

	件数	割合
30分以内	1,321	64.3%
1時間以内	184	9.0%
1時間半以内	118	5.7%
徒歩・自転車不可	429	20.9%
総計	2,052	99.9%



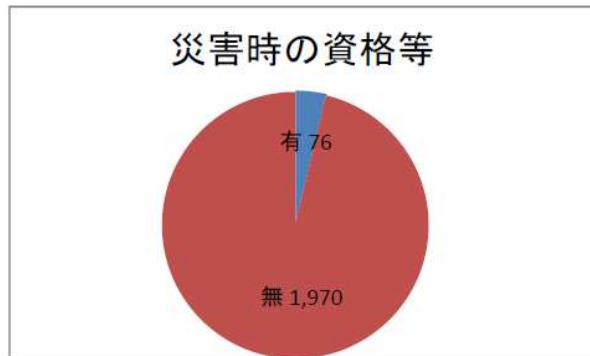
Q12. 自宅(下宿先)や家族が被災されていなければ災害時に大学に来てボランティアに参加したいですか？

	件数	割合
参加したい	410	20.0%
必要であれば参加したい	1,147	56.0%
参加したくない	205	10.0%
分からない	285	13.9%
総計	2,047	100.0%



Q13. 緊急・災害時に利用できる資格・技術等取得していますか？
(例：医師・看護師免許、消火・救命・救助の知識・技能、情報通信機器の操作資格・)

	件数	割合
有	76	3.7%
無	1,970	96.3%
総計	2,046	100.0%

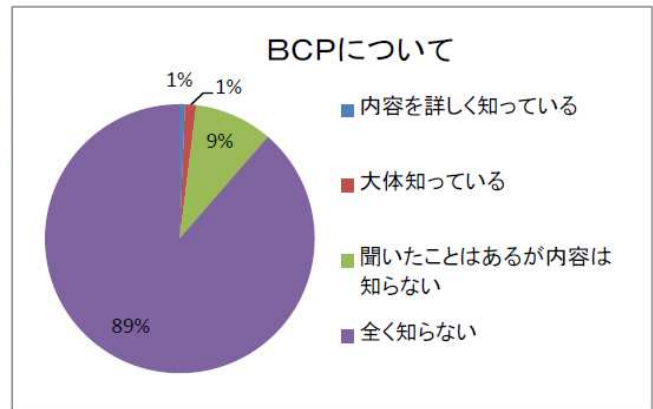


Q14. Q13で「有」を選択した方のみお答え下さい。
どのような資格・技能をお持ちですか？

救命救急の資格等(講習を含む)33(内普通救命士2救急隊員1) 防災士18 AEDの使用10 心肺蘇生法(人工呼吸)7
無線従事者2 PUSH講習会1 ITパスポート1 簡単なPC修復・配線・操作1 第一級陸上特殊無線技士1
危険物取扱物 乙4 1 建設重機免許・クレーン免許・大型免許・大型けん引免許 1

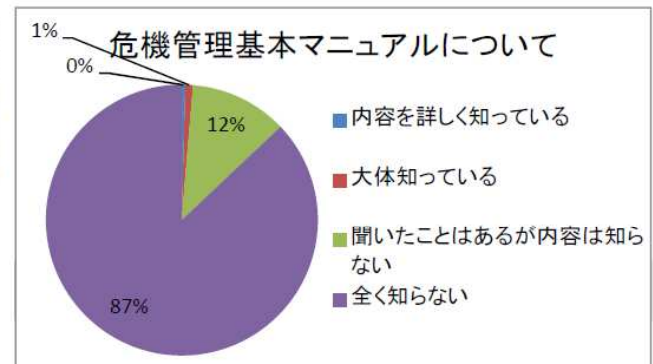
Q15. BCP(事業継続計画)という言葉を知っていますか？ [必須入力]

	件数	割合
内容を詳しく知っている	13	0.6%
大体知っている	27	1.3%
聞いたことはあるが内容は知らない	191	9.4%
全く知らない	1,804	88.6%
総計	2,035	100.0%



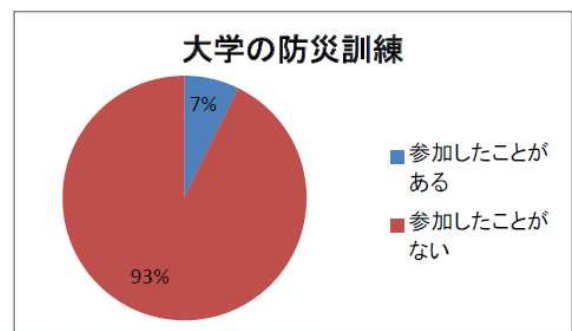
Q16. 香川大学危機管理基本マニュアルを知っていますか？ [必須入力]

	件数	割合
内容を詳しく知っている	8	0.4%
大体知っている	19	0.9%
聞いたことはあるが内容は知らない	236	11.6%
全く知らない	1,772	87.1%
総計	2,035	100.0%



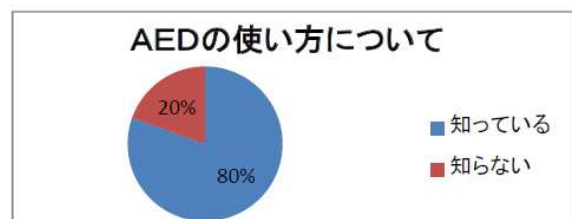
Q17. 香川大学が行っている防災訓練に参加したことがありますか？ [必須入力]

	件数	割合
参加したことがある	149	7.3%
参加したことがない	1,886	92.7%
総計	2,035	100.0%



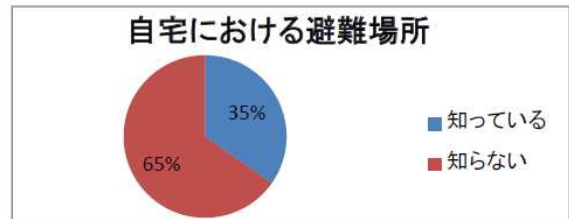
Q18. 自動体外式除細動器(AED)の使い方を知っていますか？ [必須入力]

	件数	割合
知っている	1,624	80.5%
知らない	394	19.5%
総計	2,018	100.0%



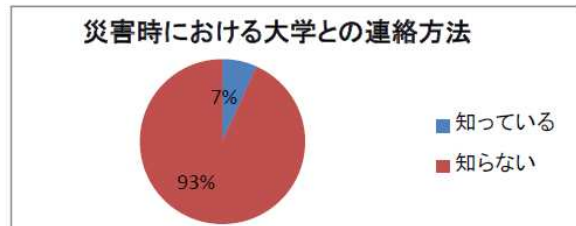
Q19. 自宅(下宿先)がある地域の避難場所を知っていますか？ [必須入力]

	件数	割合
知っている	702	34.8%
知らない	1,316	65.2%
総計	2,018	100.0%



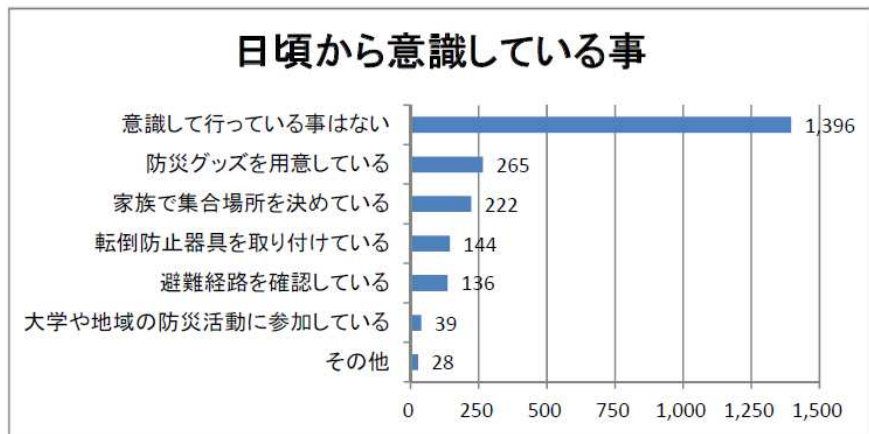
Q20. 災害時における大学との連絡方法・連絡先を知っていますか？ [必須入力]

	件数	割合
知っている	137	6.8%
知らない	1,881	93.2%
総計	2,018	100.0%



**Q21. 日頃から防災を意識して行っている事はありますか？
～複数回答可～ [必須入力]**

	件数	割合
防災グッズを用意している	265	11.9%
避難経路を確認している	136	6.1%
大学や地域の防災活動に参加している	39	1.7%
家族で集合場所を決めている	222	10.0%
転倒防止器具を取り付けている	144	6.5%
意識して行っている事はない	1,396	62.6%
その他	28	1.3%
総計	2,230	100.0%

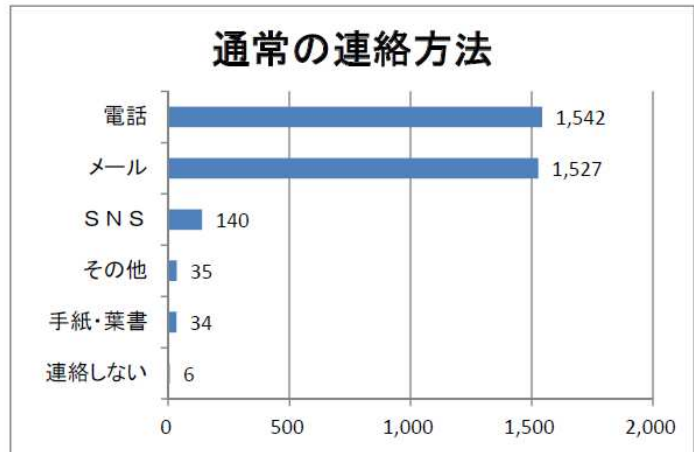


Q22. Q21、で「その他」を選択した方のみお答えください。

転倒防止器具の取り付け 最低限の防災グッズ(ラジオ・防災マップ)の準備 必要なものをまとめている
 動物の挙動を観察している 下宿で家具が倒れてきそうな位置に寝具を置かない 背の高い家具を置かない
 防災士等授業で学んでいる 水と非常用食料などの備蓄 筋トレとランニング ライトを持ち歩く

Q23. 普段、家族・友人との連絡はどのように取りますか？
～複数回答可～ [必須入力]

	件数
電話	1,542
メール	1,527
SNS	1,400
手紙・葉書	34
連絡しない	6
その他	35
総計	4,544

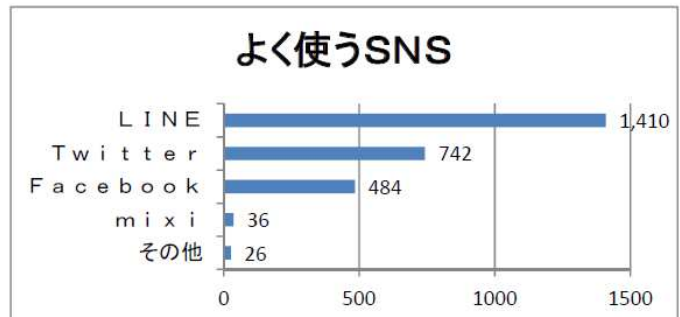


Q24. Q23、で「その他」を選択した方のみお答えください。
具体的な方法を教えてください。

Skype SMS 口頭

Q27. Q23、で「SNS」を選択した方のみお答えください。
普段、家族・友人との連絡はどのように取りますか？
～複数回答可～ [必須入力]

	件数
LINE	1,410
Facebook	484
Twitter	742
mixi	36
その他	26
総計	2,698



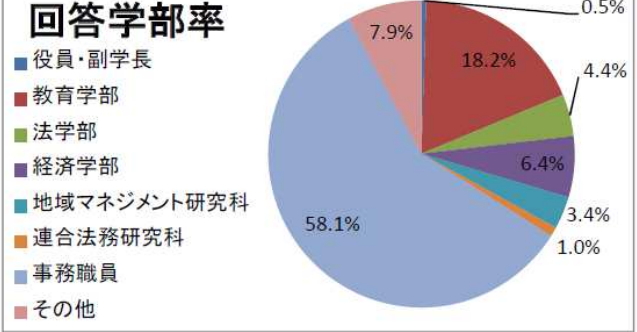
Q28. Q25、で「その他」を選択した方のみお答えください。
名称を記入してください。

Cメール google+ GREE 伝書鳩 カカオトーク Kiki タンブラー
ニコ生 災害伝言ダイヤル Instagram

アンケート調査の方法	平成26年1月～ (2月24日時点)
1. アンケート実施期間	教職員にWEB入力
2. アンケート方法	203件 (※幸町キャンパスに所属教職員の約40%から回答)
3. アンケート回答者総数	

Q1. あなたの所属を教えてください。[必須入力]

	件数	割合
役員・副学長	1	0.5%
教育学部	37	18.2%
法学部	9	4.4%
経済学部	13	6.4%
地域マネジメント研究科	7	3.4%
連合法務研究科	2	1.0%
事務職員	118	58.1%
その他	16	7.9%
総計	203	100.0%

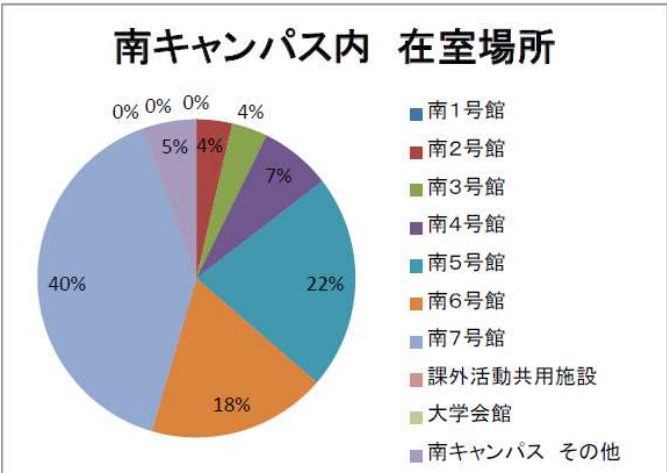
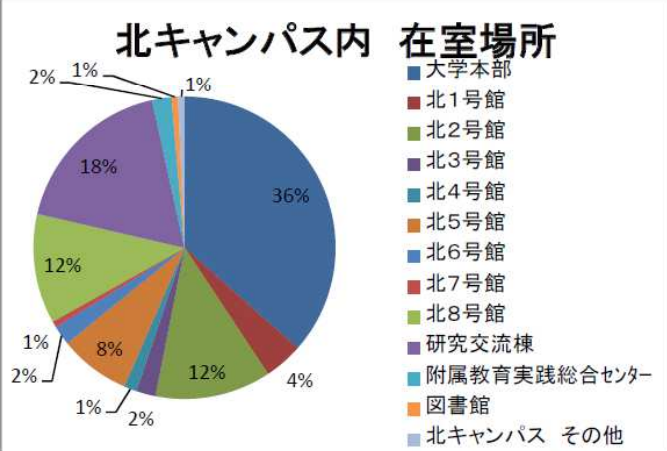


Q2. Q1、で「その他」を選択した方のみお答えください。所属を教えてください。

研究戦略室 3 インターナショナルオフィス 2 男女共同参画推進室 2 大教センター 2 広報室 2
 総合情報センター 1 アドミッションセンター 1 図書館 1 大学連携e-learning 1 学長補佐 1

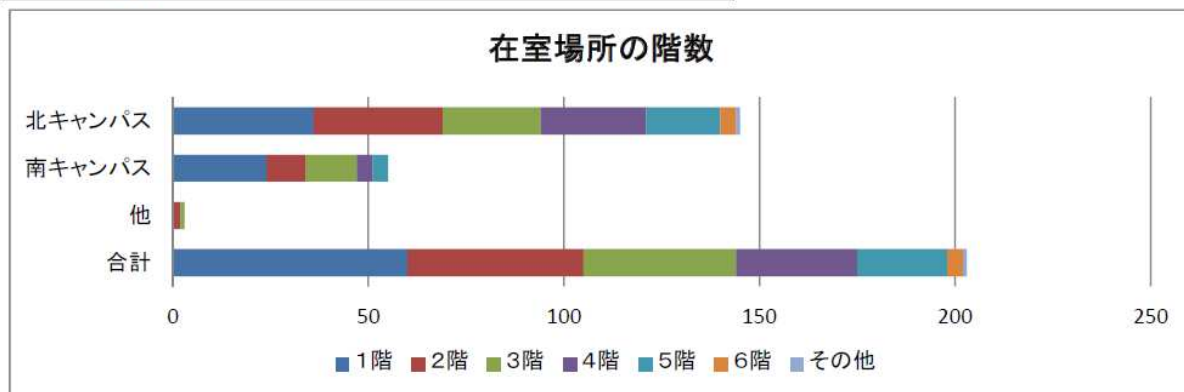
Q3. 日中大学における主な在室場所についてお答えください。[必須入力]

	件数	割合
大学本部	53	26.1%
北1号館	6	3.0%
北2号館	18	8.9%
北3号館	3	1.5%
北4号館	2	1.0%
北5号館	11	5.4%
北6号館	3	1.5%
北7号館	1	0.5%
北8号館	17	8.4%
研究交流棟	26	12.8%
附属教育実践総合センター	3	1.5%
図書館	1	0.5%
北キャンパス その他	1	0.5%
南1号館	0	0.0%
南2号館	2	1.0%
南3号館	2	1.0%
南4号館	4	2.0%
南5号館	12	5.9%
南6号館	10	4.9%
南7号館	22	10.8%
課外活動共用施設	0	0.0%
大学会館	0	0.0%
南キャンパス その他	3	1.5%
その他	3	1.5%
総計	203	100.0%



Q4. 主な在室場所のフロアの階数を記入願います。[必須入力]

	北キャンパス	南キャンパス	他	合計
1階	36	24	0	60
2階	33	10	2	45
3階	25	13	1	39
4階	27	4	0	31
5階	19	4	0	23
6階	4	0	0	4
その他	1	0	0	1
総計	145	55	3	203

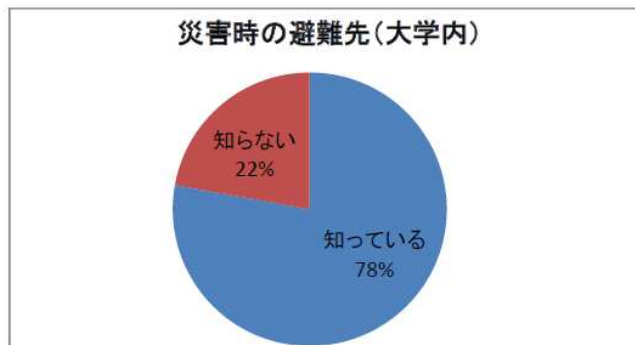


Q5. Q3、で「その他」を選択した方のみお答えください。主な在室場所を記入してください。

交友会館 3 特別支援すばる 1 教育学部本部 1 無回答 2

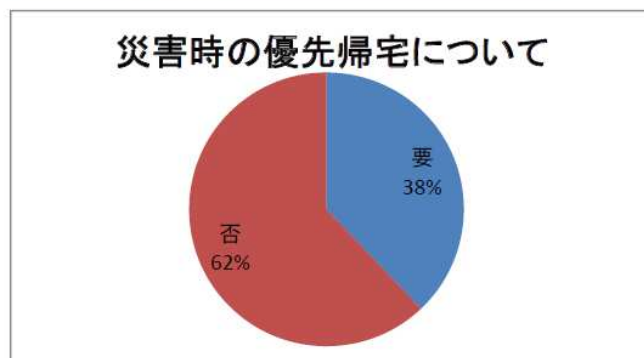
Q6. 災害が起こった場合の大学における避難場所を知っていますか？[必須入力]

	件数	割合
知っている	158	77.8%
知らない	45	22.2%
総計	203	100.0%



Q7. 災害が起こった場合、優先帰宅が必要ですか？[必須入力]

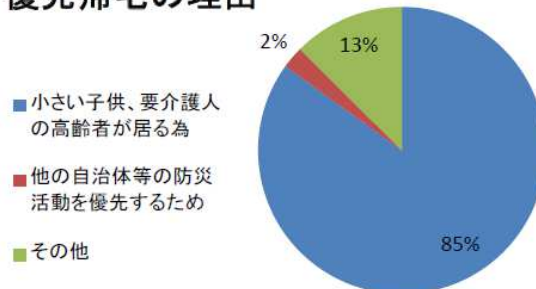
	件数	割合
要	77	37.9%
否	126	62.1%
総計	203	100.0%



Q8. 優先帰宅が必要な理由は？[必須入力]

	件数	割合
小さい子供、要介護人の高齢者が居る為	68	85.0%
他の自治体等の防災活動を優先するため	2	2.5%
その他	10	12.5%
総計	80	100.0%

優先帰宅の理由



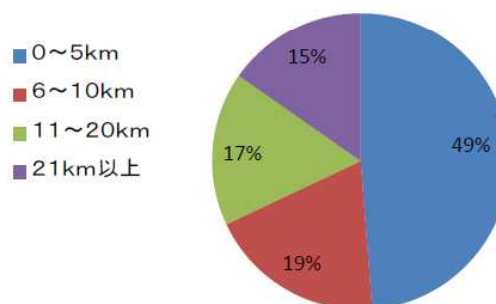
Q9. Q3、で「その他」を選択した方のみお答えください。具体的な理由を記入願います。

- 高齢の親が居るため 2
- 自宅が遠く帰宅困難になるため 1
- 当面必要なものをそろえるため 1
- 持病があるため 1
- その時の状況による 1
- 無回答 3

Q10. 自宅から大学までの距離をお答えください。[必須入力]

	件数	割合
0～5km	99	48.8%
6～10km	39	19.2%
11～20km	34	16.7%
21km以上	31	15.3%
総計	203	100.0%

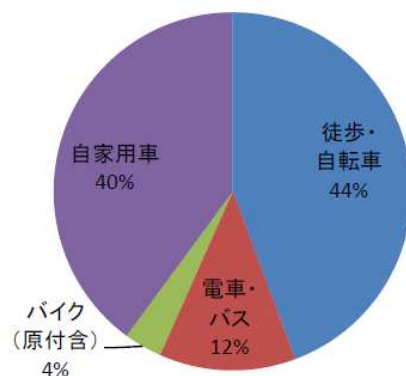
家から大学までの距離



Q11. 平時の交通手段について教えてください。[必須入力]

	件数	割合
徒歩・自転車	90	44.3%
電車・バス	25	12.3%
バイク（原付含）	7	3.4%
自家用車	81	39.9%
その他	0	0.0%
総計	203	100.0%

平時の交通手段

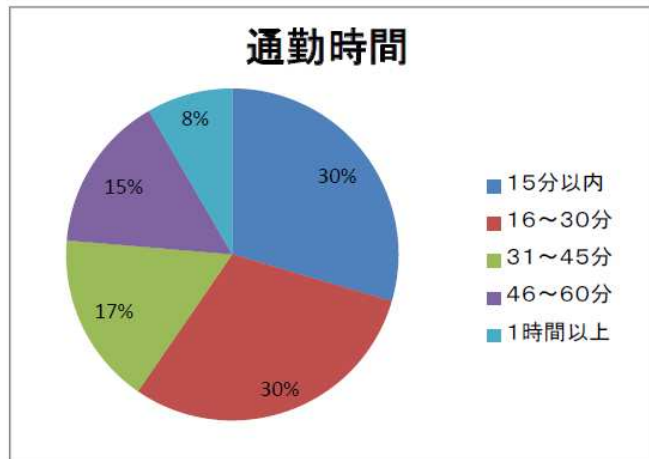


Q12. Q8、で「その他」を選択した方のみお答えください。
具体的な手段を教えてください。

なし

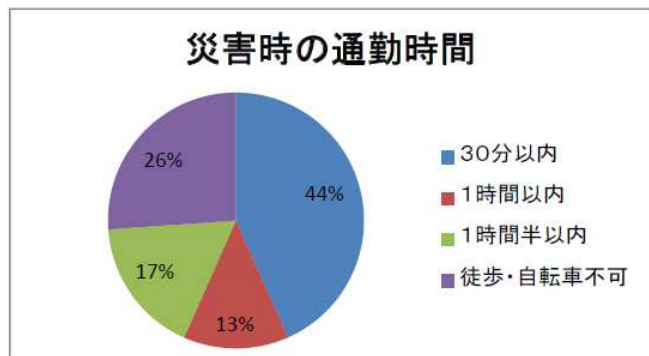
Q13. 平時の通勤時間を教えてください。[必須入力]

	件数	割合
15分以内	60	29.6%
16～30分	61	30.0%
31～45分	34	16.7%
46～60分	31	15.3%
1時間以上	17	8.4%
総計	203	100.0%



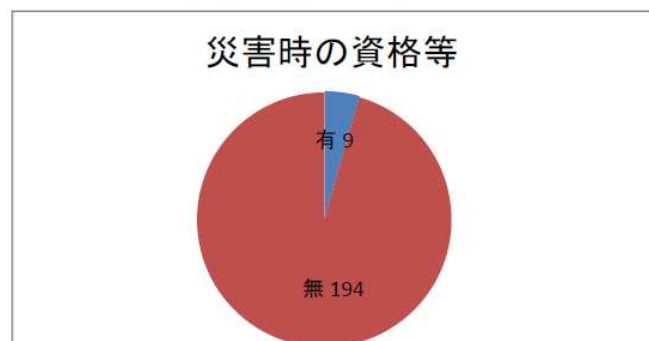
Q14. 災害などで自動車や公共交通機関が使えない場合の通勤時間はどれくらいですか？
[必須入力]

	件数	割合
30分以内	88	43.3%
1時間以内	27	13.3%
1時間半以内	35	17.2%
徒歩・自転車不可	53	26.1%
総計	203	100.0%



Q15. 緊急・災害時に利用できる資格・技術等取得していますか？
(例：医師・看護師免許、消火・救命・救助の知識・技能、情報通信機器の操作資格・技

	件数	割合
有	9	4.4%
無	194	95.6%
総計	203	100.0%

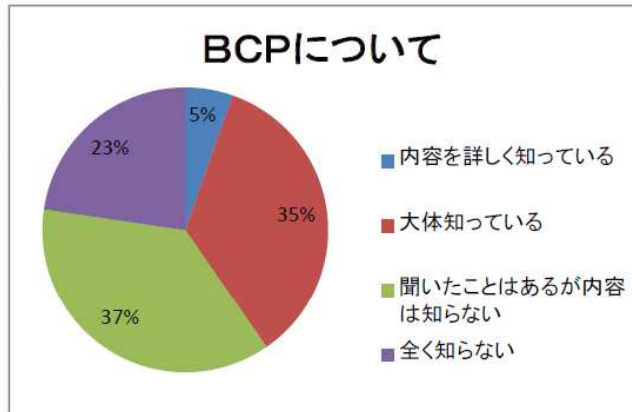


Q16. Q13で「有」を選択した方のみお答え下さい。
どのような資格・技能をお持ちですか？

通訳(英語)1 衛星電話(インマルサット)の使用1 AEDの使用1
甲種防火管理者資格1 防災管理者資格1
無線技士関係(第4級アマチュア無線技士免許等)4
日赤救急員1 救急法救急員1

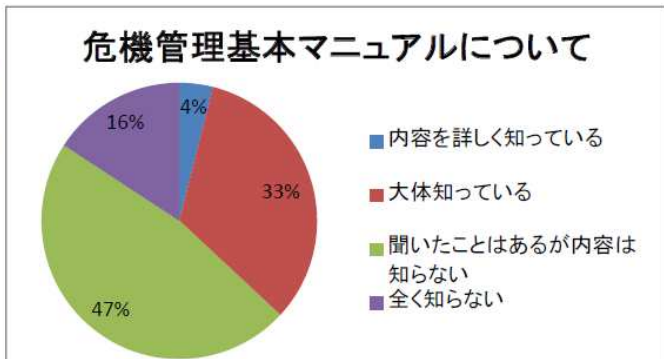
Q17. BCP(事業継続計画)という言葉を知っていますか？ [必須入力]

	件数	割合
内容を詳しく知っている	11	5.4%
大体知っている	71	35.0%
聞いたことはあるが内容は知らない	75	36.9%
全く知らない	46	22.7%
総計	203	100.0%



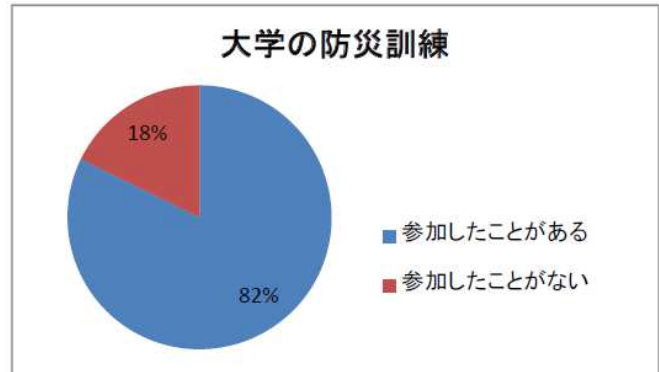
Q18. 香川大学危機管理基本マニュアルを知っていますか？ [必須入力]

	件数	割合
内容を詳しく知っている	8	3.9%
大体知っている	67	33.0%
聞いたことはあるが内容は知らない	96	47.3%
全く知らない	32	15.8%
総計	203	100.0%



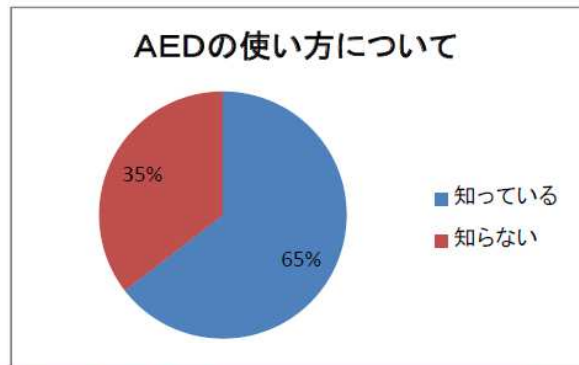
Q19. 香川大学が行っている防災訓練に参加したことがありますか？ [必須入力]

	件数	割合
参加したことがある	167	82.3%
参加したことがない	36	17.7%
総計	203	100.0%



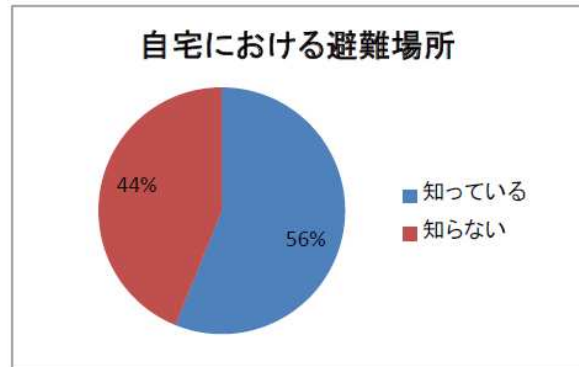
Q20. 自動体外式除細動器(AED)の使い方を知っていますか？ [必須入力]

	件数	割合
知っている	131	64.5%
知らない	72	35.5%
総計	203	100.0%



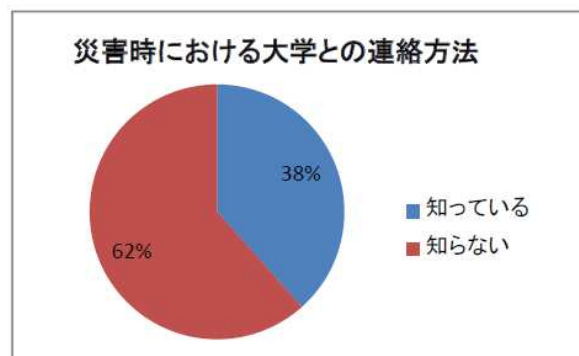
Q21. 自宅がある地域の避難場所を知っていますか？ [必須入力]

	件数	割合
知っている	114	56.2%
知らない	89	43.8%
総計	203	100.0%



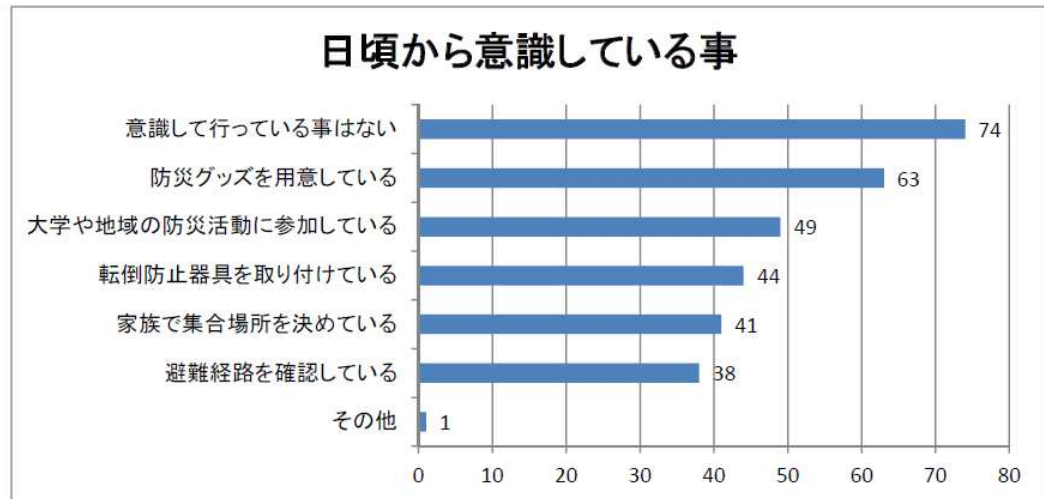
Q22. 災害時における大学との連絡方法・連絡先を知っていますか？ [必須入力]

	件数	割合
知っている	78	38.4%
知らない	125	61.6%
総計	203	100.0%



Q23. 日頃から防災を意識して行っている事はありますか？
 ～複数回答可～ [必須入力]

	件数	割合
防災グッズを用意している	63	20.3%
避難経路を確認している	38	12.3%
大学や地域の防災活動に参加している	49	15.8%
家族で集合場所を決めている	41	13.2%
転倒防止器具を取り付けている	44	14.2%
意識して行っている事はない	74	23.9%
その他	1	0.3%
総計	310	100.0%

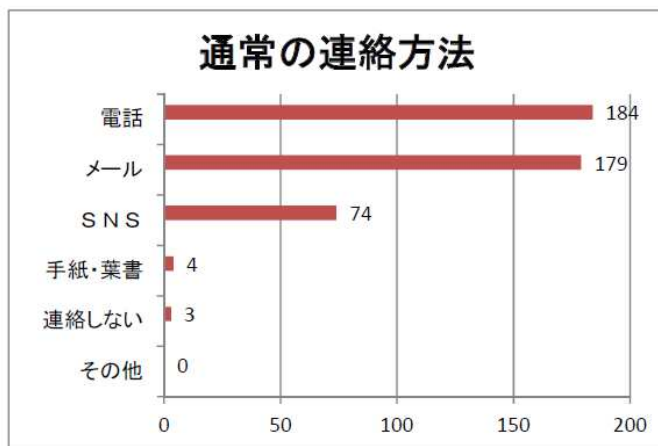


Q24. Q23 で「その他」を選択した方のみお答えください。
 具体的に記入してください

—

Q25. 普段、家族・友人との連絡はどのように取りますか？
～複数回答可～ [必須入力]

	件数
電話	184
メール	179
SNS	74
手紙・葉書	4
連絡しない	3
その他	0
総計	

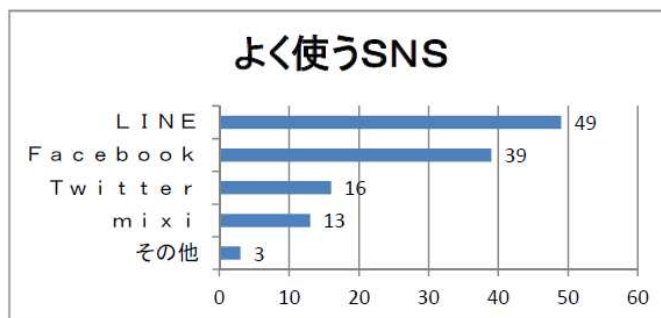


Q26. Q23、で「その他」を選択した方のみお答えください。
具体的な方法を教えてください。

—

Q27. Q23、で「SNS」を選択した方のみお答えください。
普段、家族・友人との連絡はどのように取りますか？
～複数回答可～ [必須入力]

	件数
Twitter	16
Facebook	39
LINE	49
mixi	13
その他	3
総計	120



Q28. Q25、で「その他」を選択した方のみお答えください。
名称を記入してください。

viber, kakaotalk, facetime

以 上